



こんにちは、岡田よしひでです

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

2019年11月3日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.19

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

決算特別委つづく

県議会決算特別委員会は10月30日、教育委員会の報告を受け、質疑をおこないました。高知県は不登校全国第2位となっています。全国も増加しており、文科省は「積極的に把握したため」としています。教員を増やして職場を改善し、相談体制を充実・活用することも大切です。

市民と野党で元気な高知に

「ここでいっしょに生きよう だれ一人取り残さない高知県政へ」と松本けんじさんを知事に押し上げる市民と野党の共闘が急速に発展。



松本けんじさんと市民が政策協定



松本けんじさんと野党が政策協定

市民と松本さんが結んだ政策協定を県内全野党が支持するかたちで市民と野党の共闘態勢ができました。松本さんは政策を発表し、県庁前の電車通りに事務所を構え、事務所開きをおこないました。広田一衆議院議員が選対本部長を務めます。日本共産党は、知事選勝利をめざし全力でたたかいます。知事選は11月7日(木)告示、24日(日)投票です。

県中央部に特別支援学校を

日本共産党は9月定例会で特別支援学校の整備について質問しました。知的障害特別支援学校の児童生徒数が増加傾向にあり、特に山田特別支援学校が手狭になっています。そこで、将来を見据えた抜本的な改善、解消の方策を検討する検討委員会が本年6月に設置されました。県は山田特別支援学校校区では40〜50人規模の人数超過への対応が必要としています。一方、保護者や「学校をつくる会」



市民と野党が結集

は、新しい支援学校の建設を求めており、教職員団体は高知市内に100名規模の小・中・高一貫した寄宿舎のある新しい学校の整備を提案しています。県教育委員会は、11月を目途に検討委員会の意見のまとめをもらい、それをもとに他県の取組も参考にしながら、本県に合った課題解決の方策を決定していく方針です。保護者や教職員など、みなさんの声がいかにされる抜本的な改善が図られるよう引き続き求めます。

おむすび通信 (19)

衆院比例四国ブロックの白川ようこ政策委員長、村田あつこ市議と一緒に24日、南国市の北部地域で党の政策をうったえました。次の衆院選では何としても四国に共産党の国会議員を復活させたいものです。

人望があり長く党活動をしてリードしていた元安芸市議の細川博志さん(85歳)が亡くなり、29日お通夜に行ってきました。